

感動・感謝・感激！

みんなで目指す真の「3冠」^{かん}

＜令和3年9月19日 白翔祭 校長あいさつ＞

私は今日、皆さんが頑張っている姿を見る側の立場ですが、運動やスポーツに関して観覧・観戦する立場から得られる感動の種類は、大きく分けて3つに分かれると考えています。

一つ目は、「トップレベルの技術や力」に接したときです。まさに、オリンピックや各種プロ選手の超絶たるプレーや演技、または同じ中学生でも全国大会に出場する程の技術や力に接すると、なるほど感嘆と憧憬の思いに駆られます。

二つ目は、「自分がファンだったり応援しているチームや選手、自分の所属する集団のチームや選手の活躍」に接したときです。例えば、某先生が阪神タイガースの勝敗に一喜一憂したり、オリンピックの日本人選手や新潟アルビレックスの応援をするときに熱が入るのはこのためでしょう。

そして三つ目は、「個人個人が最大限の力を発揮している姿」に接したときです。もちろん、皆さんはオリンピック選手でもプロのアスリートではありません。運動が得意な人も苦手な人もいるでしょう。足が速い人も遅い人もいる。途中で転んだりすることもあるかもしれない。でも、能力や素質などに関係なく、人間が必死に歯を食いしばってひたむきに頑張っている姿ほど、見る者の胸を打つことはありません。三つの感動の内、この三つ目の感動こそ、私はすべての人にとって一番かけがえのない感動だと受け止めています。

そんな互いのひたむきさや一生懸命さの目撃者として、軍の垣根を越えて互いに認め合い、互いに応援したくなるような、そんな熱い熱い戦いを期待しています。

皆さんがめざすのは、競技・パネル・応援の「3冠」でなく、『感動・感謝・感激』の「3冠」であってほしいと願うのです。

心一つに感動の白翔祭を全校で創り上げる一日にしましょう。